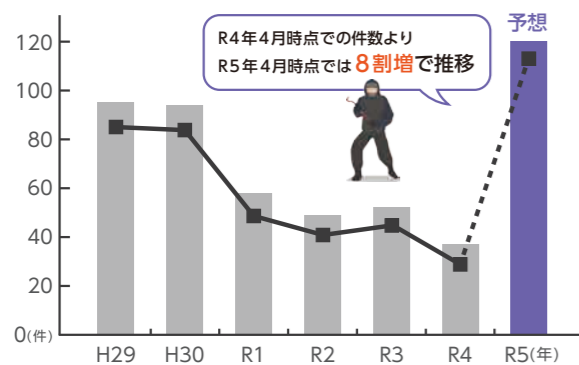


## 古河市の住宅侵入犯罪の現状

住宅侵入窃盗認知件数

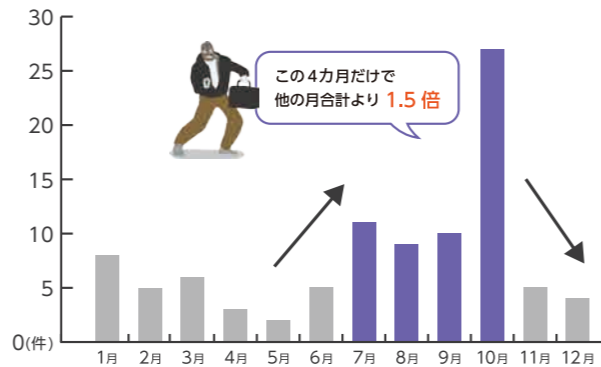
引用：茨城県警察ホームページ



コロナ禍で在宅時間が増えたため侵入窃盗の認知件数は減少していましたが、行動制限の緩和により今後急激な増加が見込まれています。

コロナ禍以前の住宅侵入窃盗認知件数(H29年)

引用：茨城県警察ホームページ



特に夏場は窓を開けたり網戸のまま出掛けたりするケースが増えるため、被害が多発します。たとえわずかな時間の外出でも、鍵を掛ける習慣を身に付けましょう。

### 防犯アプリ

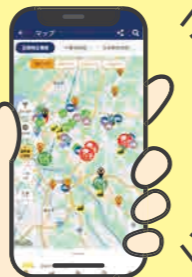
#### いばらきポリス



茨城県警察  
マスコット  
キャラクター  
ひばりくん



活用してみてね!



犯罪の  
発生同時・発生場所  
防犯対策等掲載!

身近に発生している犯罪、不審者、事故情報等を地図上で確認できるほか、防犯ブザーや子どもの見守りなどの機能も充実しています。無料で使えるので、2次元コードからダウンロードしてご利用ください。

## 家の戸締まりしましたか?

「ちょっと買い物に出掛けるだけ」「今まで被害に遭ったことがないから」などの理由で、鍵を掛けずに外出していませんか。今年市内で確認された住宅への侵入窃盗被害は、4月末時点で18件に上り、前年に比べて80パーセントも増えています。新型コロナ5類移行に伴う行動制限の緩和により外出する機会が増えたことで、さらに被害が増える見込みです。

私たちの身近なところで犯罪は起きています。日頃から防犯意識を高く持ち、対策をしっかりとって被害を防ぎましょう。



地域の安全に貢献できることが、何よりのやりがいです!



緑町自治会 自治会長  
小川久雄さん

昭和61年に緑町自治会防犯部として発足し、35年以上にわたり地域の見守り活動「防犯診断パトロール」を続けています。  
活動は7月と12月の年2回、役員を中心に18人ほどで行っています。鍵の掛け忘れがないか、脚立やはしごが庭に放置されていないかなど、泥棒に隙を見せないかチェックし、拡声器で呼び掛けをしながら巡回するのが特徴です。活動を始めてからは犯罪被害も減少し、警察から表彰も受けました。  
大切なのは一人一人が防犯に対する意識を高めること。「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を多くの住民が持つことで地域の連帯感が生まれ、安全な社会になっていくのだと思います。



被害を未然に防ぐことも、私たちの仕事です!



古河警察署 地域課  
大谷美結巡査

昨年9月に警察学校を卒業し、現在は三和交番勤務で地域に密着した活動を行っています。  
勤務内容は、管轄区域内のパトロールや遺失届・拾得物の受理、事件・事故の捜査などさまざまです。この時期は空き巣など住宅侵入による被害が増えるため、パトロールでは高齢者宅を一軒ずつ訪問し、防犯のアドバイスをするなど対策に力を入れていきます。地域柄のせいかわ、窓を開けたまま出掛ける人も多いため、施錠を徹底することが大切。「自分の家は大丈夫」と油断するのは禁物です。  
事件や事故が減り、皆さんが安心して暮らせるまちなになるよう、これから経験を積んで地域の安全に貢献していきたいと思っています。

まちの平和を守る人たち